

呉工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	コミュニケーション英語 I (松江)
科目基礎情報					
科目番号	0013		科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	一般科目		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	浅見道明ほか『Power On; Communication English I 』(東京書籍) / 『Power On スタディノート』(東京書籍), 『チャンクで英単語Standard』(三省堂)				
担当教員	松江 裕美,柿元 麻理恵				
到達目標					
1. 教科書の新出語句や重要語句を覚え, 使えうことができる 2. 教科書の文法を理解し, 使うことができる 3. 本文の内容を理解し, 英語で自分の意見を言うことができる 4. 副教材(『チャンクで英単語Standard』)の語句を覚え, 使うことができる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	教科書の新出語句や重要語句を覚え, 適切に使うことができる		教科書の新出語句や重要語句を覚え, 使えうことができる		教科書の新出語句や重要語句を覚え, 使うことができない
評価項目2	教科書の文法を理解し, 適切に使うことができる		教科書の文法を理解し, 使うことができる		教科書の文法を理解し, 使うことができない
評価項目3	本文の内容を理解し, 英語で自分の意見を言うことが適切にできる		本文の内容を理解し, 英語で自分の意見を言うことができる		本文の内容を理解し, 英語で自分の意見を言うことができない
評価項目4	副教材(『チャンクで英単語Standard』)の語句を覚え, 適切に使うことができる		副教材(『チャンクで英単語Standard』)の語句を覚え, 使うことができる		副教材(『チャンクで英単語Standard』)の語句を覚え, 使うことができない
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)					
教育方法等					
概要	言語運用の4技能(読む・書く・聞く・話す)を向上させる。テキストの音読と精読を通して, 読解力の育成をはかるとともに, テキストに取り上げられている内容に関連した語彙や表現を身に付けることを目的とする。				
授業の進め方・方法	授業では, 演習を基本とする。毎回の授業で単語テスト(小テスト)を実施する。各Lessonが終わったら, 単元末テストを行う。				
注意点	テキストや予習ノートだけでなく辞書も必ず持参して活用すること。自分自身の疑問点や学習課題を予習段階ではっきりとさせ, 授業をもとに一つずつ解決することが効果的な学習につながる。そのため, 毎回必ず予習をして授業に臨むこと。演習を基本とする授業なので, 集中して課題に取り組むことが求められる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	概要説明 Lesson 1-1	動詞の現在形・過去形	
		2週	Lesson 1-2	未来表現	
		3週	Lesson 1-3	進行形	
		4週	Lesson 2-1	比較表現	
		5週	Lesson 2-2	不定詞	
		6週	Lesson 2-3	動名詞	
		7週	中間試験		
		8週	答案返却・解答説明 Lesson 3-1	現在完了形	
	2ndQ	9週	Lesson 3-2	S + V + O [= that節]	
		10週	Lesson 3-3	受け身	
		11週	Lesson 4-1	It is [was] + 形容詞 + to 不定詞	
		12週	Lesson 4-2	助動詞	
		13週	Lesson 4-3	関係代名詞	
		14週	Lesson 4 Review		
		15週	期末試験		
		16週	答案返却・解答説明		
後期	3rdQ	1週	Lesson 5-1	分詞の形容詞的用法	
		2週	Lesson 5-2	S + V [= be動詞以外] + C	
		3週	Lesson 5-3	S + V + O + C [=形容詞]	
		4週	Lesson 6-1	S + V [= 知覚動詞] + O + C [= 現在分詞]	
		5週	Lesson 6-2	助動詞 + 受け身	
		6週	Lesson 6-3	S + V [= 使役動詞] + O + C [= 原形不定詞]	
		7週	Lesson 6 Review		
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	答案返却・解答説明Lesson 7-1	S + appear(s) [seem(s)] + to不定詞	
		10週	Lesson 7-2	関係副詞where	

		11週	Lesson 7-3	It is [was] + 形容詞[名詞] + that節
		12週	Lesson 8-1	現在完了進行形
		13週	Lesson 8-2	関係副詞when
		14週	Lesson 8-3	仮定法過去
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却・解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	5	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	4	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	5	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	5	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	1	

評価割合

	定期試験	単語テスト	単元末テスト	出席	提出物	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	5	5	0	100
基礎的能力	60	20	10	5	5	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0